北　欧　発
＋
絵本の世界

第 3 回

{ムーミン・コミックス}
第1巻　黄金のしっぽ

2014年は、ムーミンの作者トーベ・ヤンソンの生誕100周年。記念すべき今年、ムーミンの人気は巻で再燃しているようです。ムーミン・コミックスは1954年から7年間にわたって、ロンドンの「イヴニング・ニューズ」紙に掲載された「ムーミン漫画シリーズ」からのベスト・セレクション。本邦初公開のストーリーやキャラクターが多数登場する、ファン垂涎の幻のオリジナル・コミックスです。コミックスの連載時、スウェーデン語で書かれた台詞を英語に訳したのは、トーベの12歳年下の弟、語学が堪能だったラルス・ヤンソンでした。後にラルス自身がムーミンを描くことで連載は続けられ、多くの作品が生まれました。独特のテンポを持った不思議な仲間たちが、ムーミン谷を舞台に繰り広げるユニークであたたかく、ちょっと切ない日常…全14巻からなるコミックス全集の堂々の第1巻がこの「黄金のしっぽ」です。よしもとばななさんによる機知に富んだ帯文を読むだけでも、気持ちがワクワクしてきます。ある日突然しっぽが金色になってしまったムーミンの周囲で起こる様々な騒動…囁かれる噂、便乗商法、利権争い、スキャンダル…新聞連載ということもあってか、牧歌的な展開の中にも、現代社会への風刺がちらほらと見え隠れし、TVアニメや小説のムーミンとは一味違った、意外な一面が楽しめます。

発行日：2000年7月10日
作：トーベ・ヤンソン
　　ラルス・ヤンソン
訳：冨原眞弓
出版社：筑摩書房

PRESENT
このページで紹介した絵本をプレゼントします。詳しくは P.26 をご覧ください。